

避難先は市の施設だけではない

東京都内の区との防災協定について



議員
 本市と東京都内の区との防災協定について現在の進捗状況を尋ねる。また有事の際には、日頃から農業を通じた交流などを行うことで、ビニールハウス等の施設を一時避難先として、被災者を受け入れることが可能ではないか。

市長公室長
 荒川区をはじめ全国約90の基礎自治体連合「幸せリーグ」に常総市も加入し、勉強会や意見交換を行っている。まずは自治体間の交流を深め、各自自治体

特性を把握し、防災協定を結んでいきたい。ビニールハウスの活用については、被災者の受け入れ要請があった場合、まず公的な指定避難場所（あすなるの里、石下総合体育館等）を提供したい。しかし災害直後には民間のビニールハウス等の施設も有効な施設と捉え、公的避難所ではなく、農家の方々の善意による自助、共助の取り組みの一環としてお願いできればと考えている。

議員
 善意とはいえ、無償では継続していくのに難がある。例えば避難先を希望する方が年会費を払い、農家は災害の無い時は朝取り野菜を送ったり、作付けや収穫時には常総市に来て、体験をするなど、そこから経済交流や地域の活性化などに派生していくと考える。当市でも農家との連携を進めてほしい。前回の質問で協力者の意向調査を前向きに検討することであったが、その後の進捗状況は。いつ頃までに調査検討を行うのか。

市長公室長
 現在、意向調査については実施していないが、他の自治体の調査検討を行うなど着手していきたい。

平成29年5月定例会議

平成29年常総市議会（5月定例会議）が、5月31日から6月15日までの16日間の日程で開かれまし

た。
 今定例会議には、平成29年度一般会計補正予算を含む議案11件を市長が提出。初日の本会議で提案理由の説明があり、後日（6月12日）、議案質疑を行い、各常任委員会及び予算特別委員会に付託され、各委員会（分科会）において詳細に審議がなされました。

最終日には、市長から追加議案19件が提出され、採決の結果、議案30件、推薦1件、選挙5件、報告1件がそれぞれ原案のとおり可決・同意・推薦・当選・報告されました。

審議された主な議案は次のとおりです。

議案第1号

常総市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

この条例は、非常勤の特別職である農地利用最適化推進委員の費

審議結果

用弁償の額について、一般職の職員に相当する額を支給することとしているが、当該費用弁償の額を農業委員会の委員と同様に非常勤の特別職に相当する額に引き上げる改正を行うものです。

議案第12号～30号

常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

この議案は、平成28年4月1日から農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員会の事務の重点化、農業委員会委員の選出方法の変更、農地利用最適化推進委員を新設するとした改革が行われました。

これにより、これまで選挙などにより選出していた手法から、市議会の同意を得て市長が任命する方法に変わりました。本年3月1日から4月14日まで、農業委員の公募を行い、5月9日に開催した常総市農業委員会委員候補者評価委員会の報告を受けて決定したものです。これを受け、本議会において、農業委員の任命について、同意がなされました。